

シルバー情報のページ

福祉センター閉館日 さやま荘／11日(祝)・13日(祝)
さつき荘／11日(祝)・12日(土)・13日(日)・26日(土)・27日(日)

高齢者SOSネットワーク事業協力事業者募集

市では、高齢者SOSネットワーク事業に協力できる福祉・介護事業所、医療機関、スーパーやコンビニエンスストアなどの商店、企業、団体などを募集しています(4月1日現在、68の団体が協力機関として登録)。

【徘徊SOS事業】

道に迷う可能性のある人の情報を事前に登録し、道に迷った際に協力機関・事業所へ連絡し、早期の

発見に取り組んでいます。

【見守りSOS事業】

地域の人や事業者が、日常生活でさりげない見守りや声かけを行い、認知症になっても安心して暮らせるまちをめざしています。

登録を希望する場合は、市役所高齢介護グループへ問い合わせてください。

問い合わせ 高齢介護グループ
☎349-9416

金婚祝賀式を開催

今年、結婚50周年を迎える夫婦を対象に祝いの催しを開きます。

とき 10月6日(金)午前10時30分～午後0時

ところ SAYAKAホール・コンベンションホール

対象 9月15日現在、市内に住んでいる、昭和47

年9月16日～昭和48年9月15日に婚姻届を提出した夫婦 ※本籍地が大阪狭山市でない場合は、戸籍抄本(写し)1通が必要

4日(金)までに市役所高齢介護グループへ直接

問い合わせ 高齢介護グループ ☎349-9416



シルバー人材センター会員募集

市内に住んでいて、働く意欲がある60歳以上の健康な人であれば、だれでも登録できます。主な仕事の内容は、植木のせん定、草引き、植木の水やり、屋内外清掃、事業所手伝い、家事手伝い、包装・こん包、ちらし配布、あて名書き、施設管理、一般事務などです。

問い合わせ シルバー人材センター ☎366-2277



認知症高齢者の個人賠償責任 および傷害保険

認知症の人や家族が生活するうえでの不安軽減のため、徘徊SOS事業の一環として登録者を対象とした個人賠償責任および傷害保険事業を実施しています。市が契約者として保険に加入することで、日常生活で起きた事故などにより認知症高齢者が損害賠償責任を負う場合などに、保険金の支払いを受けることができます。被保

険者の自己負担はありません。詳しくは問い合わせてください。見守りや声かけによって、高齢者について気になることがある場合は、市役所高齢介護グループや地域包括支援センターへ連絡してください。

問い合わせ 高齢介護グループ
☎349-9416、地域包括支援センター ☎368-9922

さやま荘健康運動教室参加者 追加募集

【エンジョイレク】

とき 令和6年2月19日までの第1・第3月曜日・令和6年1月29日(月)・7日・21日・9月18日・10月16日・令和6年1月1日を除く午前9時30分～10時30分(全18回)

対象 市内に住んでいる60歳以上で初めて参加する人 内容 ストレッチとレクリエーション 定員 10人(先着順)

【エンジョイトレーニング】

とき 令和6年3月11日までの第2・第4月曜日(14日・9月25日・10月9日・令和6年1月8日・

2月12日を除く)午前10時45分～11時45分(全18回) 対象 市内に住んでいる60歳以上の男性 内容 ストレッチと筋力トレーニング 定員 5人(先着順)



ところ さやま荘・大広間 参加費 2400円 申し込み さやま荘へ直接 ※募集人数に達するまで随時受け付け

問い合わせ さやま荘 ☎366-2022



増田忠勝さん

(85歳・大野西)

大阪狭山に来て、たくさんの方との出会いに恵まれて、変わる事ができました。妻は前の僕の方が良かったと思いますが(笑)

福岡県出身の増田さん。「野球の人生」と表現する程に、野球に打ち込む日々でしたが、大学2年生のときに転機が訪れました。「けがでボールを投げられなくなりました。生きるのがしんどいと思うくらいショックだね。自信喪失、挫折しました。野球ばかりで勉強しておらず、漢字も知らない、文章も書けないで、劣等感のかたまりになってしまいました」そんな増田さんに光が差し始めたのは、25年前、市に移ってから。旅行を楽しむ中で1つの言葉と出会います。

「山口県の宇野千代の生家で、『苦手に挑戦』という言葉を見たのがきっかけで、僕の挑戦が始まりました。最初は水泳を始め、次第に上達してマスターズの大会で金メダルをもらえるようになって。『あ、苦手に挑戦していけるんや』と思いました」

その後、詩吟、落語など10以上の趣味に次々と挑戦。「人前で話せなかった」増田さんの人柄がみるみると変わっていきます。

「お話し会の講座で、人前で初めて発表したとき、記憶が飛んでしまっただけ。席を立とうと思いましたが、先生が『大丈夫ですよ。思い出すまで席にいていいですよ』と言ってくれて。紙芝居の先生は、『紙の後ろではなく舞台の前で話さない』と指導してくれたり。たくさん先生の教えを感謝の気持ちを持って吸収してきました。人との出会いが僕を変えてくれました」

だんだんと人前に立つことが得意になっていった増田さん。多くの趣味の中でも、子どもと接することには格別の魅力を感じたそうです。

「紙芝居やお話では学校を回ったり、講座を開いたりしました。頑張つてせりふを暗記して堂々と発表する子どもたちの姿を見て、舞台袖で泣いてしまうこともありました。お客さんの反応から子どもたちの力はすごいと感心しましたね」

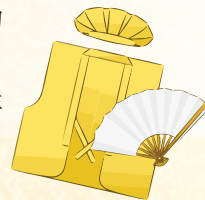
増田さんの挑戦は今もお終わっていません。「今、一番熱心なのは80歳前に始めた囲碁。この歳になっても上達するんですね。人間は成長の喜びというのがあるのかな。後は妻といろんな場所を巡って、スタンプやご朱印を集めることですね。運転はもちろん、妻で(笑)」

88歳になった人に敬老祝金を支給します

88歳になった人を対象に、米寿のお祝いとして敬老祝金を支給します。対象者には、今月上旬に案内と申請書を送付しますので、31日(木)までに市役所高齢介護グループへ申請してください。

対象 9月15日現在、3か月以上市の住民基本台帳に記録されている昭和9年9月16日～昭和10年9月15日生まれの人 **支給額** 2万円

問い合わせ 高齢介護グループ ☎349-9416



宝くじ
公式サイト

宝くじがネットで購入できる!



宝くじの収益金は、明るく住みよいまちづくりに使われます

宝くじ公式サイト | Q

お問い合わせ先

宝くじコールセンター

TEL 0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料)

TEL 011-330-0777 (有料)